

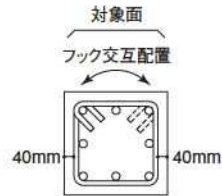
■鉄筋本数と梁および柱の幅の最小限度の関係

柱:帯筋(異形鉄筋)-交互フック・フック先曲げ(フック交互配置)

(単位mm)

主筋	主筋本数(本)		帯筋								
			2	3	4	5	6	7	8	9	10
D16	D10		205	235	275	325	375	425	475	525	575
	D13		235	260	300	350	400	450	500	550	600
D19	D10		205	245	285	340	395	445	500	550	605
	D13		235	265	310	360	415	470	520	575	625
D22	D10		210	255	305	360	420	480	535	595	650
	D13		240	275	325	380	440	500	555	615	670
D25	D10		215	275	330	395	460	530	595	660	725
	D13		245	285	340	405	470	540	605	670	735
	D16		275	315	370	435	500	570	635	700	765
D29	D13		245	310	375	450	530	605	685	760	835
	D16		280	325	395	470	545	625	700	780	855
D32	D13		250	325	400	480	565	650	735	820	900
	D16		285	335	410	495	580	660	745	830	915
D35	D13		255	345	430	520	615	710	800	895	985
	D16		285	355	440	530	625	720	810	905	995
D38	D16		290	370	460	560	660	760	860	960	1060

- [注] (1) 帯筋の形状は図のようにし、末端部折曲げは交互に異なる隅を折り曲げる。
 (2) 帯筋が9φ、13φ、16φの場合には、それぞれD10、D13、D16の表を準用する。
 (3) 両側が屋外で耐久性上有効な仕上げのない場合には、表の数値に20mmを加える。
 片側が屋外で耐久性上有効な仕上げのない場合には、表の数値に10mmを加える。
 (4) 両側が土に接する場合は、表の数値に20mmを加える。
 片側が土に接する場合は、表の数値の10mmを加える。



梁:あばら筋(異形鉄筋)-片隅フック・フック先曲げ

(単位mm)

主筋	主筋本数(本)		あばら筋								
			2	3	4	5	6	7	8	9	10
D16	D10		195	235	285	335	385	435	485	535	585
	D13		210	250	300	350	400	450	500	550	600
D19	D10		195	240	295	345	400	450	505	560	610
	D13		215	255	310	360	415	470	520	575	625
D22	D10		200	250	310	365	425	480	540	600	655
	D13		220	265	325	380	440	500	555	615	670
D25	D10		210	265	330	400	465	530	595	660	730
	D13		225	280	350	415	480	545	610	680	745
	D16		245	300	365	435	500	565	630	695	765
D29	D10		220	290	365	440	520	595	675	750	825
	D13		235	305	380	460	535	610	690	765	845
D32	D13		245	320	400	485	570	655	740	820	905
	D16		260	335	420	500	585	670	755	840	920
D35	D13		255	335	430	520	615	710	800	895	985
	D16		270	350	445	540	630	725	815	910	1005
D38	D13		260	350	450	550	650	750	850	950	1050
	D16		275	365	465	565	665	765	865	965	1065

- [注] (1) あばら筋の形状は図のようにし、末端部折曲げは1隅とする。
 (2) あばら筋が9φ、13φ、16φの場合には、それぞれD10、D13、D16の表を準用する。
 (3) 両側が屋外で耐久性上有効な仕上げのない場合には、表の数値に20mmを加える。
 片側が屋外で耐久性上有効な仕上げのない場合には、表の数値に10mmを加える。
 (4) 両側が土に接する場合は、表の数値に20mmを加える。
 片側が土に接する場合は、表の数値の10mmを加える。



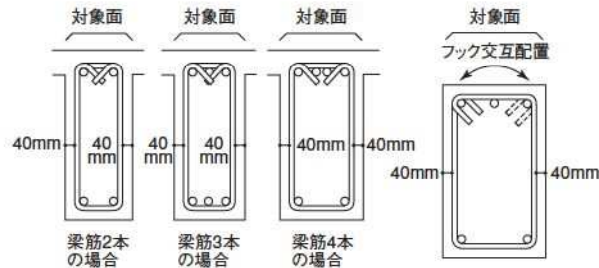
梁:あばら筋(異形鉄筋)-① U字形・フック先曲げ

② 交互フック・フック先曲げ(フック交互配置)

(単位mm)

主筋本数(本)		あばら筋								
主筋	あばら筋	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		D 16	D 10 D 13	210 245	245 260	285 300	335 350	385 400	435 450	485 500
D 19	D 10 D 13	210 245	250 265	295 310	345 360	400 415	450 470	505 520	560 575	610 625
D 22	D 10 D 13	210 245	260 275	310 325	365 380	425 440	480 500	540 555	600 615	655 670
D 25	D 10 D 13 D 16	215 250 285	275 290 315	330 350 370	400 415 435	465 480 500	530 545 570	595 610 635	660 680 700	730 745 765
D 29	D 10 D 13 D 16	215 250 285	300 315 330	365 380 395	440 460 475	520 535 550	595 610 630	675 690 705	750 765 780	825 845 860
D 32	D 13 D 16	250 285	330 345	400 420	485 500	570 585	655 670	740 755	820 840	905 920
D 35	D 13 D 16	255 290	345 360	430 445	520 540	615 630	710 725	800 815	895 910	985 1005
D 38	D 13 D 16	255 290	360 375	450 465	550 565	650 665	750 765	850 865	950 965	1050 1065

- [注] (1) あばら筋の形状は図のようにする。
 (2) U字形のあばら筋を用いる場合はキャップタイとの組合せとなり、スラブの取付側のフックは90°フックとできる。
 (3) あばら筋が9φ、13φ、16φの場合には、それぞれD10、D13、D16の表を準用する。
 (4) 両側が屋外で耐久性上有効な仕上げのない場合には、表の数値に20mmを加える片側が屋外で耐久性上有効な仕上げのない場合には、表の数値に10mmを加える。
 (5) 両側が土に接する場合は、表の数値に20mmを加える。
 片側が土に接する場合は、表の数値の10mmを加える。



① U字形・フック先曲げ

② 交互フック・フック先曲げ
(フック交互配置)

■配筋標準

設計かぶり厚さ

(単位mm)

部 位			仕上げあり ⁽¹⁾	仕上げなし ⁽²⁾
土に接しない部分	床スラブ 屋根スラブ 非耐力壁	屋内	30以上	30以上
		屋外	30以上	40以上
	柱 耐力壁	屋内	40以上	40以上
		屋外	40以上	50以上
擁壁			50以上 ⁽³⁾	50以上 ⁽³⁾
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・壁・ 布基礎の立上り部分		50以上 ⁽⁴⁾	
	基礎・擁壁		70以上 ⁽⁴⁾	

- [注] (1) 耐久上有効な仕上げのある場合。
 (2) 耐久上有効な仕上げのない場合。
 (3) 品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で10mm減の値とすることができる。
 (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。

鉄筋間隔・鉄筋のあきの最小値

(単位mm)

	鉄筋間隔	鉄筋のあき
異形鉄筋	<p>・呼び名の数値の1.5倍+最外径 ・粗骨材最大寸法の1.25+最外径 ・25mm+最外径 のうち大きい方の数値</p>	<p>・呼び名の数値の1.5倍 ・粗骨材最大寸法の1.25倍 ・25mm のうち大きい方の数値</p>
丸鋼	<p>・鉄筋径の2.5倍 ・粗骨材最大寸法の1.25+鉄筋径 ・25mm+鉄筋径 のうち大きい方の数値</p>	<p>・鉄筋径の1.5倍 ・粗骨材最大寸法の1.25倍 ・25mm のうち大きい方の数値</p>

- [注] D:鉄筋の最外径、d:丸鋼の鉄筋径

鉄筋の貫通孔の孔径

(単位mm)

呼び名	D 10	D 13	D 16	D 19	D 22	D 25	D 29	D 32	D 35	D 38
貫通孔	21	24	28	31	35	38	43	46	50	53